

# 憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp  
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007  
FAX03-3261-5453

2017年2月3日（金）

（節分の日）

第717号 本号3頁

## 重大法案「共謀罪」 国会論議 乱暴で、ゆらぎが目立つ—こんな答弁に愕然！

政府が今国会での提出しようとしている「共謀罪」について論戦が予算委員会などの場で交わされています。政府は「テロ等準備罪」と名を変えて、適用条件を「厳しく」した上で法案を提出する構えです。しかし、論戦を通じて、政府の答弁は乱暴で、ゆらぎが目立ち、その支離滅裂さぶりが現段階でもすでに露呈しています。

### くるくる変わる、ひどい！安倍首相の答弁！

その一つ目は、衆院本会議で「法整備しなければ五輪を開けないといっても過言ではない」と述べたことです。五輪の招致段階を含め、全く言わなかったのに、共謀罪を提出するとなったら言い出しました。テロ対策というならば、我が国はすでにテロ防止のためのすべての条約を締結し、国内法も整備しています。

その二つ目は、過去に提出された共謀罪法案について「組織的でなくても、ばらばら集まって話をただけで罪になるわけです」と、従来の「団体の活動や縄張りとは無関係に、個人的に同僚や友人と犯罪実行を合意しても、本罪は成立しません」との政府見解と全く異なる答弁をしています。これまでの政府見解や答弁を知らないのでしょうか。長年の議論の前提を覆す発言です。

こうした答弁を聞いていると、時には「嘘をついている」ように見え、「いや、知らないのかな」と思うような疑念を持つ答弁をしています。安倍首相が「息をするように嘘をつく」とまで言われるゆえんです。

安倍首相が、共謀罪法案について国民が指摘する問題点や過去の議論の経過を理解した上で、共謀罪の提出を指示しているのか、疑念を持たざるを得ません。



### 「重大な犯罪」 「絞り込み不可能」から「絞り込み」へ

政府は国際組織犯罪防止条約に加わるために共謀罪は必要だとしてきましたが、今回は①対象を団体一般から「組織的犯罪集団」に限定し、②摘発には重大な犯罪の実行に向けた「準備行為」がなされることを必要とすると、という二つのしぼりを加え、さらに「重大な犯罪」の範囲も絞り込む考えです。これらを認定するのは警察などの政府、行政機関であり、その構造と恣意性という国民監視の本質は何ら変わりません。

しかし、政府のこれまでの立場は、「重大な犯罪」の定義は条約で定められており、絞り込みは不可能だとしていました。これとの整合性はどうなるのか？また、間違っていたというのであれば、「共謀罪を導入しなければ条約に加盟できない」等の答弁はどうなるのでしょうか。過去の見解や答弁と異なる答弁を繰り返す姿勢には、国民の多くが疑念を持ったのではないのでしょうか。

### このありさまで、国会提出は断念すべきです！

特定秘密保護法、盗聴法、戦争法などに続き、戦争する国づくりに向けた安倍政権の下での強行は断じて許せません。国民監視、国民分断、人権侵害の重大な悪法である共謀罪を、本質を広く国民に知らせないという安倍政権の戦略そのままに国会への提出はストップさせなければなりません。

# 話しあうことが罪になる 共謀罪の国会提出を許さない 共謀罪反対！国会前行動／議員要請行動

## 12・6を忘れない国会行動＝共謀罪 NO！ 国会前集会

- ◆とき 2月6日(月)12時～13時／◆ところ 衆議院第二議員会館前
- ◆発言 国会議員及び市民団体からのアピールなど
- ◆主催 「秘密保護法」廃止へ！実行委員会

## 共謀罪 NO！ 国会議員要請

- ◆とき 2月6日(月)13時30分～／◆集合場所 衆議院第二議員会館 第3会議室
- ◆日程 13:30～14:00 打ち合わせ／14:00～15:00 議員要請／15:00～15:30 報告集会
- ◆主催 「秘密保護法」廃止へ！実行委員会
- ◆連絡先 新聞労連 03-5842-2201 [jnpwu@mxk.mesh.ne.jp](mailto:jnpwu@mxk.mesh.ne.jp)／平和フォーラム 03-5289-8222／5・3憲法集会実行委員会(憲法会議 03-3261-9007/許すな！憲法改悪・市民連絡会 03-3221-4668)／秘密法に反対する学者・研究者連絡会 [article21ys@tbp.t-com.ne.jp](mailto:article21ys@tbp.t-com.ne.jp)／秘密法反対ネット(盗聴法に反対する市民連絡会 090-2669-4219/日本国民救援会 03-5842-5842)

## 野党共闘 共産・小池書記局長と民進・福山幹事長代理が対談

日本共産党の小池晃書記局長と民進党の福山哲郎幹事長代理の対談の動画が、インターネット番組「デモクラTV」のサイトで公開され、話題となっています。

冒頭、小池氏は参院本会議で行った代表質問について「(安倍首相は)聞いていることにまったく答えない。聞かれてもいないことをととととしゃべる。中身はでたらめです」と批判。福山氏は、「質疑に対してほとんど正面を向いて答えない。国会自身に対して失礼な答弁が多かった」と指摘しました。

そして、野党の共同提出の長時間労働規制法案、天下りあっせん問題、トランプ米新政権から軍事的・財政的負担の強化を求められる日米同盟問題など、早急な審議が必要、などと語り合われました。

共闘について議論となり、小池氏は、共産党の党大会に民進、自由、社民の3野党と参院会派「沖縄の風」の代表が出席したことにふれて、「みなさん本当に覚悟を決めて来られている。腹をすえて野党と市民の共闘で政治を変えるんだという熱気あふれる大会になりました」と語りました。福山氏は、安保法制に反対して多くの国民が国会前や全国各地で声を上げたことが「野党が集中しようということの根拠をつくっていただいた最大の要因だと思います」と強調。参院選で野党統一候補が11の1人区で勝利したことは「大きな成果だったと思います」と述べました。さらに、小池氏は、「色とりどりの多様性をもった人たちが一つに集まっているが、固く結束している姿とともに、各党と一緒に勝とうと思っている姿を示さないといけないうんです」と強調し、単なるすみ分けでなく、相互推薦を基本に、お互いが協力できる形をつくることで全力を発揮できると提案しました。

最後に、政権問題について、福山氏は「政権というのは国民の生活全般がありますから、あんまりハードルを高く上げてしまうと、今の足元の議論すらできなくなる」と率直な意見を表明しました。小池氏は、「政権問題での政党間の合意がないもとは、僕らもこれは協議の入り口の条件にはしません。しかし、与党からの攻撃もあるでしょうし、答えを持っておく必要はあると思います」と述べました。さらに、福山氏は、「それぞれの政党が持っている政策の交流や考え方で言うと、連立という選択肢は今のところわが党のなかではないんです。今の安倍政権に対抗して、まずは協力していきましょう」と述べました。小池氏は「この問題は継続的に協議していかなければいけません」と語りました。

## 各地の市民と野党、野党共闘実現にむけたとりくみ

### 滋賀 市民と野党の共闘の発展めざし、「革新の会しが」学習交流集会

革新の会しがは1月21日、新春学習会を大津市で開催し、約30人が参加しました。全国革新懇の乾友行事務局長が「『市民と野党の共闘』の発展をめざす課題と革新懇の役割について」とのテーマで講演。参加者が活動を交流しました。

安保法制の廃止を求める湖東の会の松本利寛氏は、「安倍政治は許せない」という自民や公明両党の支持者とも共同した取り組みを報告。民主青年同盟の服部恒平県委員長は、県議会で日本共産党と民主党（当時）系の「チームしが」が賛成した「国に対して安全保障関連法（戦争法）の廃止を求める意見書の提出を求める請願」について報告しました。

日本共産党の奥谷和美県委員長は、次の総選挙を「安倍政権を打倒し、野党連合政権を実現する大きな一歩」にするために、「滋賀でも勝利を基準にしてたたかかなければならない」と強調。市町や小選挙区単位に野党共闘を求める運動団体をつくり、「市民と野党の共闘の姿が大多数の県民に見える状況をつくること、滋賀で勝利にふさわしい野党共闘をつくりあげていく大事な課題だ」と訴えました。

### **福井** ピースさかい 民進、社民、共産党に申し入れ、野党統一候補実現を要請

福井県坂井、あわら市で活動する市民と野党の共闘組織「ピースさかい」は1月19日、福井市の日本共産党県委員会を訪れ、衆院福井1区で野党統一候補を早急に実現するよう申し入れました。訪れたのは、竹内謙二共同代表ら3人。共産党側は南秀一委員長と宇野邦弘、谷口英子両常任委員が応対しました。18日には民進党県連と社民党県連合に同様の申し入れを行っています。

竹内氏らは、安倍政権の暴走政治と同選挙区の稲田朋美防衛大臣に厳しい審判を下さなければならぬとし、「安倍政権を終わらせるには、野党共闘＝統一候補をつくり、選挙で勝利するしかない」と強調。野党統一候補実現を急ぎ、「あらゆる可能性をくみつくして努力を」と要請しました。

南氏は要請を受け止め、「全力をあげます」と応じました。共産、民進、社民、緑の4党間で重ねている政策協議の状況を報告し、原発再稼働を阻止する政策課題でも一致点を広げるため、粘り強い協議とともに「たたかいを大きく発展させていかないといけない」と強調しました。

総選挙の野党共闘に向けては、新日本婦人の会県本部も18日、民進党県連と社民党県連合に申し入れました。

### **埼玉・川口** 安倍政権倒そうと、3野党合同宣伝

川口市の「政治転換を追及する川口市市民連合」と「戦争法廃止を求めるオール川口実行委員会」は1月19日、川口から野党共闘を進め、安倍政権を倒そうと3野党合同宣伝を行いました。

衆院埼玉2区予定候補の日本共産党平川みちや候補、民進党県議菅克己氏と、社民党川口総支部中山茂代表がスピーチ。JR川口駅前には3野党の旗が並び、集まった市民らは「憲法を守れ」「安倍政権退陣」などのプラカードを手に3氏のスピーチに「頑張れ」と声援を送りました。



平川氏は、今国民の声を無視して悪政をすすめる安倍政権を批判して『国民の暮らしに密着し、現場の声を大切に作る』という共通の基盤があるかぎり、この共闘が揺らぐことはありません」と訴えました。菅氏は、県議会でも共産党や社民党とともに街頭に立つなど連携が始まっていると紹介し、「皆さんが後押ししてくださることに自信を持ち、この場所を、政治を変えていくスタートとしたい」と語りました。中山氏は、「3党の合同宣伝は『戦争できる国にしない』という大きな目標のもとに実現しました。衆院選での野党共闘勝利へ頑張りたい」と述べました。

市民連合の米田務代表、戦争させない川口1000人委員会、安保関連法に反対するママの会@川口の代表もスピーチしました。

### **石川** いしかわ市民連合が野党共闘の実現を要請

いしかわ市民連合は1月23日、金沢市の日本共産党石川県委員会を訪れ、次期衆院選に向けた政策要望書を手渡し、衆院選でも野党共闘を続けてほしいと要望し意見交換しました。要望書は民進、社民の両党にも提出しています。

市民連合の河合隆平（金沢大学准教授）須藤春夫（法政大学名誉教授）両代表が、共産党の秋元邦弘県委員長、西村祐士書記長と意見交換を行いました。



河合氏は、「民進、社民にも要望書を手渡した。好意的に受け止めていただいた」と述べました。秋元氏は「安倍政権の打倒へ、野党3党と市民の共同をさらに発展させ衆院選で必ず勝利したい。共通政策をしっかりと示せるかが大事だ」と述べました。須藤氏は、「選挙にのぞむ『勝つためのスタイル』をつくってほしい。力を合わせるとき政策が一番のポイントになってくるのでは」と述べました。秋元氏は「市民の皆さんの運動と力を合わせ、政策の合意とそれに基づく選挙区の相互推薦、相互支援になるように力をつくし何としても勝利めざす体制をつくりあげたい」と応じました。